



# 令和元年度の実証事業の公募状況

---

令和2年10月

政策統括官付

### 【実証事業の目的】

- 歩行者移動支援サービスの普及促進に向け、歩行空間ネットワークデータを活用した先進的な事例創出
- 先進事例の水平展開や歩行空間ネットワークデータ整備の効率化・高度化を目的に、実証事業の検証結果から仕様書やガイドライン、手引きを更新

### 【実証事業の公募内容】

#### ○目的

- ・観光マップ、防災マップ整備等の地方公共団体の既存施策との連携によるデータ整備・利活用の検証

#### ○実証事業の公募

- ・公募期間：令和元年 7月1日～8月9日
- ・対象団体：バリアフリー調査の実績がある、または今後バリアフリー調査等の計画を実施している、市区町村又は社会福祉協議会、観光協会等(2団体選定)
- ・実施内容：既存施策との連携によるバリアフリー調査の方法を検討の上、現地にてバリアフリー情報を収集し、歩行空間ネットワークデータ等の整備を実施。実施団体における整備データの多用途利用の可能性についても確認

#### ○選定団体

長崎市LRTナビゲーション 推進協議会	路面電車の電停から観光施設までのバリアフリー情報を整備し、 <u>路面電車運行情報提供サービス「ドコネ」と連携したバリアフリー経路情報の提供等に活用</u>
東京都府中市	バリアフリー重点整備地区内の主要な経路のバリアフリー情報を整備し、 <u>バリア情報を付与した防災マップの作成や東京2020オリンピックの自転車競技観戦者への情報提供等に活用</u>